

私学助成署名推進ニュース

全国私学助成をすすめる会

(事務局：全国私立学校教職員組合)

No.2 2020年7月10日(金)

全国知事会等文科大臣へ「少人数学級実現に向けた教員確保要求を提言として提出！」

教育条件整備での共同を持ちかける好機に

7月4日マスコミ報道等されていますが、全国知事会、全国市長会、全国町村会の3団体が、7月3日に萩生田文部科学大臣に「新しい時代の学びの環境整備に向けた緊急提言」を提出しました。コロナ禍下での新たな教育環境づくりに向け、地方自治体も国に必要な整備を要望しています。

6月に入り各地では、分散登校の形をとりつつ「学校再開」となりました。授業を同内容で2回実施、子どもたちの安全のために使用教室・施設の消毒作業、加えてオンライン授業の準備等と、「再開後の業務は『過重労働の状態』」という声が、全国私教連の実態調査にも多数届いています。この状況は公立学校でも同様です。この点について全国知事会、全国市長会、全国町村会の地方自治体3団体の長が、「新しい時代の学びの環境整備に向けた緊急提言」と題した形で、教育条件整備要求を文部科学大臣に提出しました。

新しい時代の学びの環境整備に向けた緊急提言

去る5月25日、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が全面的に解除され、学校においては概ね授業が再開されているところである。一方、公立小・中学校の普通教室の平均面積は64㎡であり、現在の40人学級では、感染症予防のために児童・生徒間の十分な距離を確保することが困難であることから、その対応が学校現場において大きな課題となっている。こうした実情を踏まえて、今後予想される感染症の再拡大時であっても必要な教育活動を継続して、子どもたちの学びを保障するためには、少人数学級により児童・生徒間の十分な距離を保つことができるよう教員の確保が是非とも必要である。

また、学校の臨時休業等の緊急時においてもオンライン学習ができる環境を充実させ、新しい時代の学びを支える環境を整備することが必要である。ハード整備が先行して進む「GIGAスクール構想」において、最適な学びを実現するためには、少人数によるきめ細やかな指導体制が必要であり、学習用ソフトウェアを含む端末・ネットワーク環境の改善及びそれらを有効活用するためのICT教育人材の配置の充実が必要である。

こうしたことから、国におかれては、

- (1) 少人数編制を可能とする教員の確保
- (2) GIGAスクールサポーター等のICT教育人材の配置充実
- (3) 更新費用やランニングコスト等も含めたICT環境整備に必要な財政措置の拡充

など、学校教育環境の整備を早急に図ることを強く要望する。

令和2年7月2日

全国知事会会長 飯泉 嘉門
全国市長会会長 立谷 秀清
全国町村会会長 荒木 泰臣

子どもたちの
「いのち・安全」に
公私の差別なく！
を自治体と共有する好機

左が3団体の会長名でまとめられた「新しい時代の学びの環境整備に向けた緊急提言」です。

公立小・中学校の普通教室の平均面積を具体的に記し、「現在の40人学級では、感染予防のために児童・生徒間の十分な距離を確保することが困難であることから」と事実を強調し、「少人数学級により児童・生徒間の十分な距離を保つことができるよう教員の確保が是非とも必要である」と大義を示して、要望項目として「(1) 少人数編制を可能とする教育の確保」を1番目に挙げています。

子どもたちの安全・安心については、「私学は自己責任で」と言えるものではありません。

各自治体においても、この視点に立って、私立学校へ通う子どもたちのために、教員数確保をはじめとした教育条件の向上にむけた経常費助成(運営費助成)の大幅拡充を訴えていきたいと思います。